

コラム おっぱま・私の推しスポット！

学生によるおすすめの場所や好きな場所（推しスポット）を毎号ご紹介します。

深浦ボートパーク

深浦湾にある深浦ボートパークは全国に 180 ある海の駅の1つです。穏やかで綺麗な海が特徴で、5月から7月にかけてクサフグの産卵が観察されます。海を親しむイベントも開催され、市民の憩いの場となっています。運が良ければ猫に出会えるかも…？（小倉大輝）



Access

浦郷町1丁目
60-8
（追浜駅より
徒歩約30分）

横須賀コロッケ

追浜駅から国道沿いに歩いてすぐ、長年地域に愛されている「横須賀コロッケ」。学生もよく利用しています。追浜の商店街や街並みをゆっくり歩いてみてください。（年盛文也）



Access

追浜町3丁目5
（追浜駅より徒歩約3分）

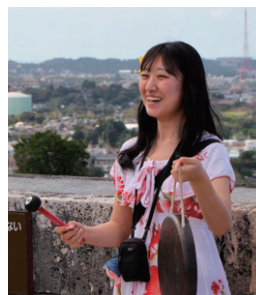
OPPAMA
Magazine

Vol. 3
2026.3

高校生が描く、
追浜の未来

編集主担当からの一言

第3号となる今回は「まちづくりスクール」を特集しました。高校生たちの柔軟な発想や熱意に、むしろ私たち大学生の方が学ばせてもらいました。そして、本マガジンも無事に1年間発行を続けることができました。最近温かいお声をいただく機会があり、感謝と嬉しい気持ちでいっぱいです。来年度以降も続けていきますので、引き続きよろしくお願いいたします！（田中もも）



ご意見・
ご感想は
こちらまで▶



発行：追浜えき・まち・みちデザインセンター

編集：追浜えき・まち・みちデザインセンター 学生ディレクター

田中遼太郎・小倉大輝・年盛文也・高井優紀*・松本望実*

岩本なつみ・田中もも・渡部耀・中島悠臣・若山和樹

（横浜国立大学大学院 都市計画研究室 所属・*東京大学大学院 工学系研究科 所属）

発行月：2026年3月

1年間ありがとうございました！
次号は来年度発行予定です。
今後もよろしくお願いします！

学生が主体となって制作する地域密着型マガジン

OPPAMA Magazine



高校生が描く、
追浜の未来

Contents

p.2-9 追浜まちづくりスクール開校！

p.10-11 まちづくりスクールのその後

p.12 【コラム】おっぱま・私の推しスポット！

▲商店街でメモを取る学生

Vol. 3
2026.3

TAKE FREE

追浜まちづくりスクールレポート

追浜まちづくりスクールが開催されました！

開催概要

追浜まちづくりスクール

日時：2025年11月8日(土)、11月9日(日)

会場：追浜えき・まち・みちデザインセンター

主催：横浜国立大学都市計画研究室

協力：横須賀市、追浜えき・まち・みちデザインセンター

11月8日、9日の2日間を通して、高校生を対象としたまちづくりスクールを開校しました。「将来の追浜駅周辺地域のまちづくりデザインを考える」をテーマに、まちの見方を学びながら、追浜駅周辺地域の将来像を考えました。

Day1 まちの見方を身につける1日目

○スクール開校！レクチャー「都市計画を学ぶ学生が教えるまちの見方」

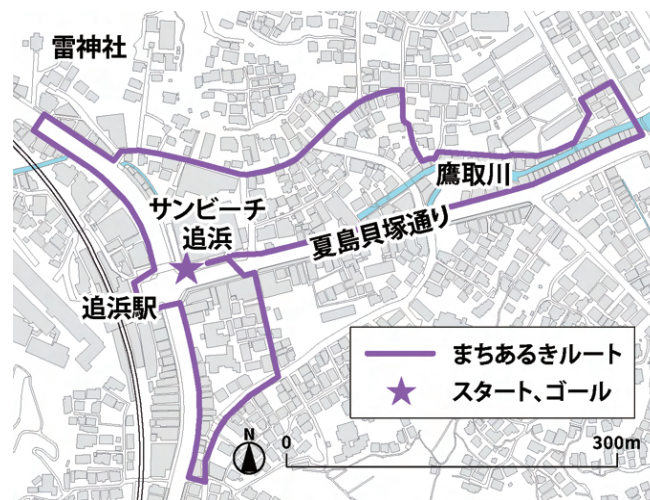


▲レクチャーの様子

初日は、横浜国立大学の学生によるレクチャーからスタート。まずは、実際に学生が実践してきた様々なプロジェクトを紹介し、「まちづくり」とは何かについて学びました。続いて、自然・空間・生活・歴史の4つの軸を解説。実際に追浜の風景を交えながら、まちを読み解くための視点を学びました。

○3つのグループに分かれてまちあるき

レクチャーの後は3つの班に分かれ、まちあるきへ。駅前デッキから商店街にかけて、進行中の再開発や国道拡幅事業について解説を交えつつ、水路や路地といった昔ながらの資源も探索しました。中には、生物や歴史に詳しい高校生から大学生が教わる場面も見られ、私たち大学生も気づかされる場面の多いまちあるきでした。



▲まちあるきで歩いたルート



▲水路を覗き込む学生

○まちあるきまとめ「マイ追浜マップ」作成！



▲マップ作成を通して追浜を捉える

まちあるきでの発見を持ち寄り、大きな地図を囲んで作業を開始。撮影した写真を貼ったり、ペンで直接書き込んだりしながら、まちの資源や課題を整理しました。高校生の視点で捉えた追浜の姿を「マイ追浜マップ」としてまとめ、グループごとに成果発表を行いました。

Day2 まちづくりデザインを考える2日目

○2日目スタート！野原先生レクチャー「まちづくりの最先端」

2日目は野原教授による「まちづくりの最前線」の講義からスタート。レクチャー後は古地図や都市計画図等の分析を行



▲海外事例の紹介も…



▲前日の発見をデータで補強

学びました。客観的な視点と専門知識を

○アイデアソンとまちづくりアイデアまとめ

2日間の学びを活かし、いよいよアイデア出し。まちの将来像とアイデアについて議論を重ねました。デッキのあり方を考える班や、交通課題から広域に



アプローチする班など、提案の範囲も内容も様々。活発なコミュニケーションの中で提案が練り上げられていきました。

▲ディスカッションを重ねつつ、発表に向けてまとめる

○アイデア発表！2日間お疲れさまでした！

2日間の集大成として、最後にアイデア発表を実施。各班が描いた未来の追浜と実現に向けた提案が示されました。高校生ならではの視点や提案に対し、講師の野原教授や大学生から講評が寄せられました。最後には修了証が授与され、追浜の未来を共に考えた2日間が幕を閉じました。



▲いよいよ発表！学生同士で質問し合う場面も

次のページから各班のアイデアについて詳しくご紹介します！▶▶

ぱまっこ

マイ追浜マップ

可能性あふれる古き良き追浜！！

神社や昔ながらの飲食店などの歴史資源に目を向けながら、建物の老朽化などの課題も「古き良き味わい」として、新旧が混ざり合うまちの空気を前向きに捉えていました。



私たちのまちづくりアイデア

デッキで出っ来る事

駅前デッキを中心として、高校生がおすすめを発信できる掲示板の設置など、等身大の提案をしてくださいました。神社の将来像も併せて考え、古き良き追浜の魅力を活かしつつ、変化も受け入れる柔軟なアイデアとなりました。



▲初日から笑顔で意見が飛び交った班



マイ追浜マップ

昔ながらの小さいお店や細い道、
まちなみが残るまち

3班の中でも真面目に、たくさん手を動かしてくれた班です。まちあるきでは、鷹取川でエイを発見するという驚きもありました。川の生き物や橋の装飾、屋根の素材など、まちの細部まで丁寧に観察し、追浜の魅力と課題を探りました。



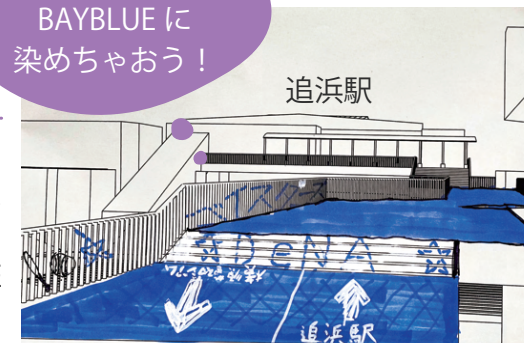
鷹取川で
エイを発見！
今日一番の
驚き

私たちのまちづくりアイデア

OPPAMA BAYBLUE PLAN

鷹取川の再生とベ이스ターズ、共通する「青」をテーマにした提案。スポーツを中心とした来街者への魅力発信と、住民の憩いの場づくり、双方の視点を持ち、「OPPAMA BAYBLUE PLAN」として鮮やかにまとめました。

デッキも商店街も
BAYBLUEに
染めちゃおう！



追浜 ベ이스ターズ★

マイ追浜マップ

たくさんの要素ある "多面体" のまち。 だけど交通悪いかも…

終始活発に意見が出た班。自然や歴史などの「要素の多さ」そのものが追浜の魅力であると捉えました。中でも、交通はそれらを支える基盤であると考え、中心的な課題として位置付けました。

「意外と生き物が多い」
「昔からあるお店が多くて良い」

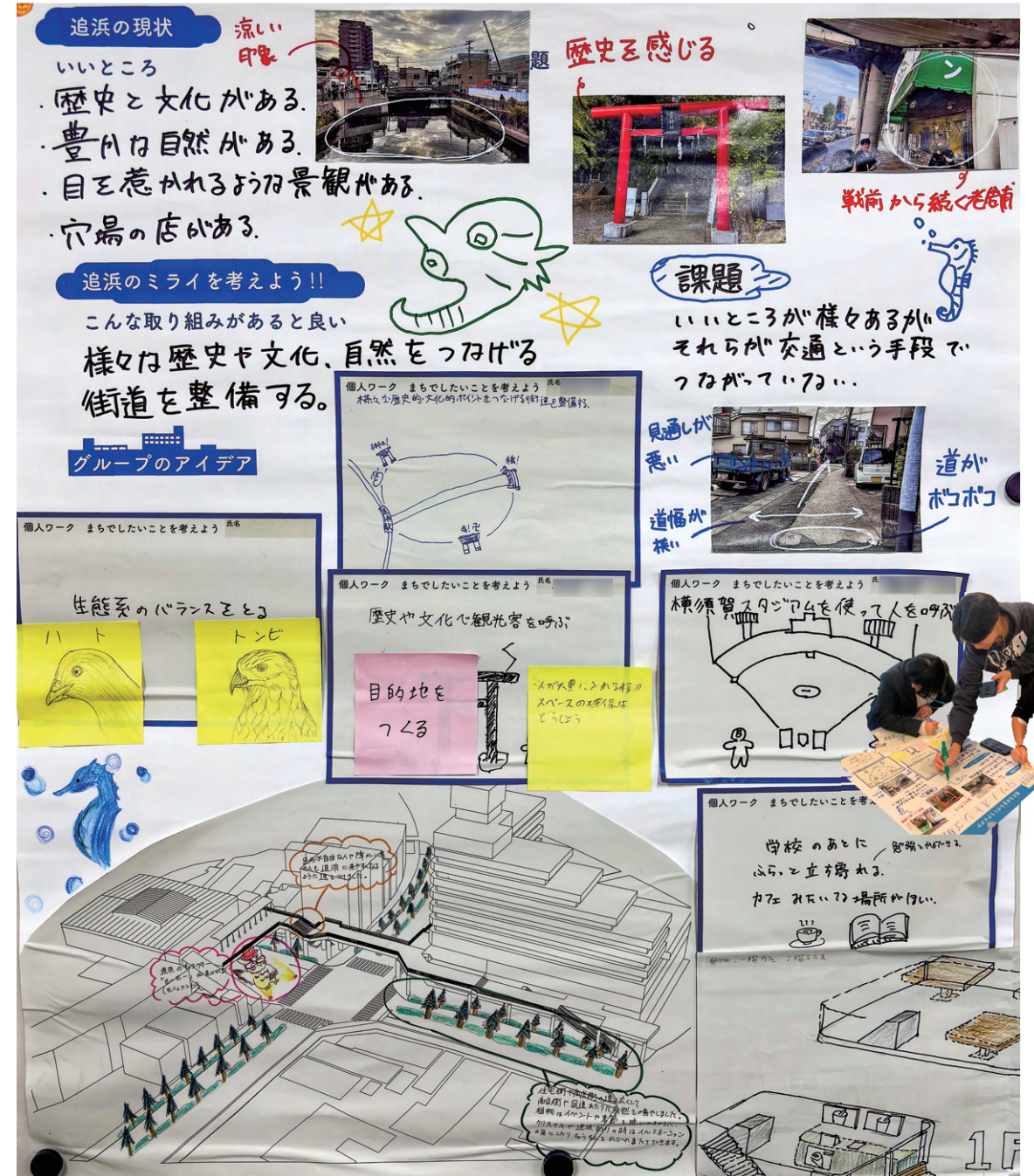
「川の上に家が建っている風景が面白い」



私たちのまちづくりアイデア

タツノオトシゴ街道

自然や歴史といった追浜の魅力を繋げる街道を整備する提案。名前は、神社や川、デッキなどの主要な要素をつなげたルートが、タツノオトシゴのように見えたことから(右図)。



まちづくりスクールはまだまだ続きます! ▶▶

まちづくりスクールのその後

2つの学校で、それぞれ授業をさせていただきました！

概要

浦郷小学校 総合探求の授業
日時：2025年11月
会場：追浜えき・まち・みち
デザインセンター、浦郷小学校

関東学院六浦高校 地理総合の授業
日時：2026年2月
会場：追浜えき・まち・みちデザ
インセンター、関東学院六浦高校

浦郷小学校「追浜のキャッチコピーを考えよう！」

まちのキャッチコピーを考えよう！「追浜は〇〇〇〇まち！」

浦郷小学校6年生の総合学習で、まちあるきへ。歴史や自然など、追浜の資源を再発見し、その魅力を一言で表すキャッチコピー「追浜は〇〇〇〇まち！」を考案しました。小学生ならではの素直な視点とフレーズが発表され、まちの新たな一面に気づく機会となりました。



▲自然や歴史に言及した班が多かった ▲5つの班に分かれてまちあるき

関東学院六浦高校「まちを歩いて、アイデアを提案してみよう！」

アイデアカード投票企画再来！1位に輝くのは…

地理総合の授業の一環として、全4回のプログラムを実施。まちあるきでの気づきを「アイデアカード」にまとめ、投票を行いました。学生投票の結果、高校近くの空き家をカフェ兼自習室として地域に開くアイデアが選ばれました。



▲投票の様子



▲賞状を受取る学生

スクールを終えて

小学生から高校生まで、次世代がまちづくりを考えた秋。今回は、その中でも11月のスクールでの高校生の頑張りに対し、横浜国立大学の野原教授と横須賀市まちづくり政策担当部長の工藤さん、お二人からメッセージをいただきました。



横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究員 野原教授

高校生の皆さんの、まちに対する洞察力と熱意、アイデアに感嘆しました。まちは生き物、常に変化し続けるので、皆さんの知恵とパワーと愛情で自分たちにとって豊かで暮らしやすい「まち」となるよう、想いを巡らし続けてほしいです。



横須賀市まちづくり政策担当部長 工藤久幸

高校生の自由な発想力が光る、心弾むスクールでした！皆さんのアイデアを未来の種として育てながら、共にまちの明日をつくっていくことを楽しみにしています。研究室の皆さん、野原先生、ありがとうございました。

お二人ともありがとうございます。学生はもちろん、追浜に関わるみなさんとともに、まずはまちを知り、学ぶことから始め、立場を越えて意見交換を重ねながら、これからの追浜を一緒に考えていけたらと思います。



▲2日間お疲れ様でした！これからもよろしくお願いします！

ありがとうございました！

「OPPAMA MAGAZINE」を1年間ご愛読いただき、誠にありがとうございます。初めての試みで何もかも手探りでしたが、皆様の温かいお声に支えられ、無事第3号をお届けできました。心より感謝申し上げます。これからも精一杯活動していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。